

下水道 環境づくりの パスポート

—水洗化工事の早期実施にご協力を—

市の公共下水道は、四月一日から水門町や清水町の一部など、新たに約三十一ヘクタールの地域で利用できるようになりました。これにより、計三百十四ヘクタール（対象人口一万一千五百十人・戸数四千四百七十戸）の地域でトイレの水洗化や生活排水の排除ができるようになりました。

しかし、下水道が利用できるようになった全区域のうち、今年五月末の時点で水洗化されているのは七〇・七%とまだまだ低い状況です。下水道が使用できるようになっている区域の皆さんは、川や海などの汚染を防止するとともに、快適な生活環境を実現する排水設備（水洗化）工事を早めに済ませるようご協力願います。

早めに水洗化工事を

◆水洗化工事とは

くみ取り式トイレを使用している家庭では、水洗トイレに改造するとともに、トイレ、台所、風呂などから出る排水を、市が設置した公共ますに接続する工事が必要です。また、現在浄化槽で水洗トイレを使用している家庭では、浄化槽を廃止し、排水を直接公共ますに接続する工事が必要です。

◆水洗化工事は3年以内

水洗化工事は、下水道が利用できるようになってから3年以内に行わなければなりません。したがって、今年度使用できるようになった地域の皆さんの水洗化工事の期限は、平成十三年三月末日までになります。

◆工事の申し込みは指定店へ

工事は市の指定店でなければなりません。まず、便器の型などを選定し、指定店に工事の見積もり依頼をします。その見積金額をよければ、その指定店へ工事を申し込んでください。あとは指定店が市へ提出する書類の作成などの手続きを行います。

◆工事費はどれくらい？

公共ますと家屋との距離や台所、風呂、トイレなどの配置、使用する便器の種類などによって差があります。平均では約六十万円から八十万円程度です。また、合併処理浄化槽を廃止し、公共ますへ接続する工事の場合は、約三十万円程度です。

受益者負担金について

◎なぜ納めなければならないの？

公共施設の整備をする場合、その費用は市などの公費でまかなわれます。しかし、公共下水道は、整備された区域のかただけが利益を受けることになります。そのため公費だけでまかなうと、整備されない区域のかたとの間に不公平が生じることになります。そこで、公平を計るため、利益を受ける皆さんに建設費の一部を負担していただくものです。

◎納付方法は？

年4回（6、9、11、2月）、5年間にわたって納めていただきますので、全部で20回の納付になります。

なお、納付には、納め忘れがなく便利な口座振替も利用できます。ご利用を希望されるかたは、口座をお持ちの金融機関の窓口にお申し込みください。

※平成10年度の第1期分（6月30日納期）及び過年度分をまだ納めていないかたは、早めに納付してください。

ご利用ください 融資あっせん制度

融資あっせんの条件

水洗化工事を行う場合に必要な費用を、金融機関から借りられるよう市が融資のあっせんします。利子分は市が負担しますので無利子です。融資を希望されるかたは、工事を申し込むときに工事指定店へお申し出ください。所得証明書など、融資に必要な書類を準備すれば、あとの手続きは工事指定店が行います。

対象工事・くみ取り式トイレの水洗化工事

・浄化槽を廃止し、配水管を公共ますに接続する工事

・前記の工事と同時に進行他の排水設備工事

対象者・工事を行なう個人（法人を除く）

融資限度額・50万円
（トイレの数が2か所以上の場合、1か所30万円として150万円が限度）

償還方法・50か月以内の元金均等償還
あっせん期間・使用できるようになってから3年以内

下水道について、詳しい内容を知りたいときや、お問い合わせがあるときには
下水道課 ☎49-3111
（内線356、211）へどうぞ